

## 辻原の研究から（建築史の分野から） -樺太庁本庁庁舎に関する研究-

### 1. スライド

昭和17年の火災以前の樺太庁本庁庁舎と火災後に計画された庁舎

北海道文書館所蔵の樺太庁文書を用いて

令和5年 第1回木方科研研究会・第二部

2023年06月24日（金）13:15～14:45

道特会館（札幌市）6階中会議室

### 2. 関連する文献

- [1] 辻原万規彦, 角哲: 昭和17年の火災以前の樺太庁本庁庁舎と火災後に計画された新庁舎 北海道立文書館所蔵の樺太庁文書を用いて, 日本建築学会計画系論文集, 第86巻, 第785号, pp. 1998-2009, 2021.7

以下を印刷して配布

- [2] 同上の論文を投稿した際に, 一次査読で指摘された意見に対する回答書と修正した原稿  
[3] 同じような内容を日本建築学会技術報告集に投稿した際の原稿と査読結果（不採用）

※日本建築学会には, 論文集と技術報告集がある。前者は2回の査読があり, 後者は1回のみである。一般的には, 前者の方が査読が厳しいと言われているが, 2回に査読があるので, 「再査読」の判定を出して議論を行うとの姿勢をもつ査読者もいる。いずれにしても, 私たちの分野では最も難しい論文集の一つ。